

遠藤 元一 選手・川上 竜 選手の紹介

背番号
39
DF

えん どう げん いち
遠藤 元一 選手 (28歳)
揖斐川町ホームタウン応援大使
ニックネーム ゲン



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

北海道稚内市出身で、高校から本格的にサッカーをするために旭川実業高校へ進学し、サッカー部での下宿生活が始まった。大学は、サッカー部専用寮がある、神奈川県伊勢原市の産業能率大学へ進学し、ここではサッカー部の友人以外に、ゼミ仲間の友人達が出来たことも良かったと思っている。

大学卒業と同時に2017年J3リーグの長野パルセイロに加入した。4年間レギュラーメンバーではなかったが、ディフェンダーとして、当たり前のことを当たり前90分間やり続けることができる選手としての基本が出来たと感謝している。当時GKでレギュラー選手ではなかったが、ひたすら黙々と練習し、後にJ1やJ2で活躍している人間的にも素晴らしい田中謙吾選手を尊敬している。

2021年カマタマーレ讃岐に移籍して2年間レギュラー選手として61試合に出場をすることが出来たが、副キャプテンとしてチーム成績に貢献出来ず残念な思いであった。

今回のFC岐阜への移籍は、更に自分の技術や人間性に磨きをかけて、スタメン出場しチームに貢献して結果を出せる選手になりたいという決意をもって加入した。

副キャプテンとして先ずはプレーでその存在を示し、ベテランと若手の間の中堅として上下を繋ぐ役割を果たしたいと思っている。いじられ易いキャラクターなので緩衝材の役割も心得ている。そして、プレーはもちろん生活面でも行動と言葉で示して必ず結果に繋がりますと決意を語ってくれた。

関西学院大学アメリカンフットボール部の鳥内監督著書「どんな男になんねん」が好きで、サッカーに通じることがある。ピッチ上に現れる変化に早く気づき対応出来て、『こいつがいないとダメだ』と言われるディフェンダーになりたいと言う“ゲン”です。

背番号
40
MF

かわ かみ りゅう
川上 竜 選手 (28歳)
川辺町、七宗町ホームタウン応援大使
ニックネーム リュウ



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

生粋の福岡育ちでアビスパ福岡のU-15、U-18でサッカーを学び、福岡大学スポーツ科学部に入学し、サッカー部に所属した。1986年以来歴代Jリーガーを95名輩出している名門校である。

プロスタートは2017年でJ3の福島ユナイテッドFCに加入した。「開幕2週間前の2月に加入して、ぎりぎりまでプロになれたんです」と謙遜しながらも感謝を込めて語った。

福島加入後すぐにレギュラーを掴み取り、2018年には故郷のJ3ギラヴァンツ北九州に迎え入れられ、主力選手として活躍した。2019年には、J3からJ2に昇格を果たし、2020年もJ2で活躍した。今シーズンFC岐阜に加入するに当たっては、自分の昇格体験を大いに生かしたいと考えている。福島ユナイテッドFCで1年、ギラヴァンツ北九州で3年、SC相模原で2年経験してきたが、FC岐阜の選手の能力は非常にレベルが高く、若手とベテランのバランスが良く、中堅役として頑張りたいと思っている。

鹿島アントラーズで活躍した、小笠原満男選手のチームを勝ちに導くプレーに子供の頃から憧れていた。今回の副キャプテン就任は光栄だと感じている。自分もチームを勝ちに導けるように努力したいと思っている。遠慮気味な新卒選手がいたら、殻を破れるように声がけして、良いチームづくりにも貢献しようと思っている。

家庭では10カ月の息子の風呂入れが終わった後に、サウナでゆっくり過ごすのが楽しみである。岐阜の街は駅前周辺以外が静かで落ち着いていて非常に過ごし易く夫婦共に気に入っていますので、チーム昇格とともに自分自身も向上していきたいと決意している。